

- れいめいのコマド—授業をのぞき見—
- れいめい教職員コラム
- イベント告知

れいめい中学校があなたの成長を応援する広報誌

れいめいの



れいめい中はIB(国際バカロレア)の候補校に認定され、今年度入学の一年生から各教科で様々な取り組みを行っています。その中から、国語と道徳の取り組みを紹介します。

—授業をのぞき見—
2023/4月中1国語

中学1年生国語、最初の授業は「詩」。人が自己表現する時には必ず「恥ずかしさ」がついて回ります。表現技法を学んで詩を作ってみると恥ずかしくても「イイ創作」ができるはず！

この授業で育む力

「創造性」「自己表現」など



[STEP 1] 詩の表現技法の違いを確認します

詩には様々な表現技法が使われています。例えば「擬人法」。『のはらうた(工藤直子)』では作者がのはらの生き物たちの代理人として生き物のフリをして、詩を書いています。これも一つの擬人法です。

※擬人法：人間でないものを人間にたとえて表現する方法

[STEP 2] 外で自然のモノを探します

教室を出て、草や木、虫、雲など様々な自然を感じながら、その様子を観察し、自分が特に気になる自然のモノの気持ちを想像します。



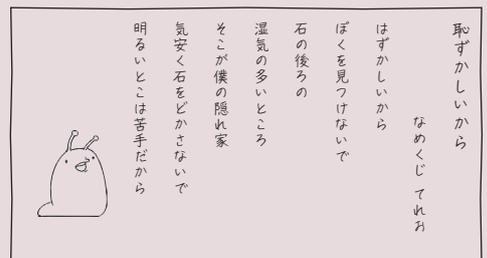
[STEP 3] 自然のモノに名前を付けます

観察した様子や想像した気持ちからぴったりの名前を付けます。
例) ナメクジ発見→けだるそうに逃げている→てれているのでは?
→「なめくじ てれみ」と命名



[STEP 4] 詩を書きます

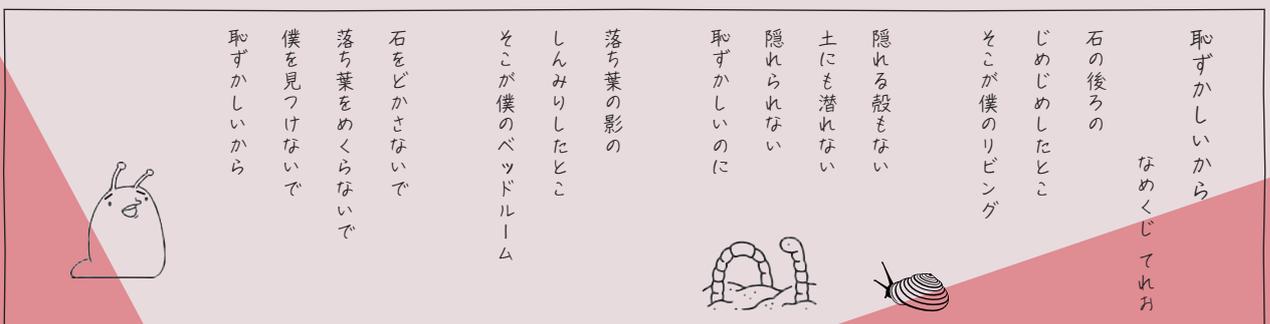
様子や想像した気持ちを詩に表現します。客観的に書くのではなく、自然のモノの視点で書くように気を付けます。イラストもいれましょう。



[STEP 4] 詩を推敲します

詩の表現技法を学んで、詩を推敲すいこうします。自分が特に伝えたいところを強調するようにします。

※推敲すいこう：言葉や文を何度も考え直していくこと



一授業をのぞき見—
2023/4月中1道徳

中学1年生道徳では、一番身近なクラスメートとの関係を学ぶところからスタートします。今回取り組んだのはチームビルディング。共通の課題に対してメンバー1人1人のスキルや経験を活かして挑み、目標を達成できるチームを目指す活動です。



れいめい生徒会所属のくま(?)
不屈不撓の心をもつ「たふやん」
の日常を描く四コマ劇場
友達のマシオ(柔道部)もいるよ

この授業で育む力

「コミュニケーション」

「協働」など

[オブジェチャレンジ]

共通のテーマから、それぞれが表現したモチーフを合体して、チームのオブジェを作ります。今回のテーマは「理想の人」!

それぞれが紙粘土で作ったモチーフは形も大きさも様々。それをどのように組み合わせてオブジェにするのかがチームワークの見せどころです。



職員室のコマド

—れいめいの教職員コラム—

あなたを応援したい教員が、交替で書くコラム。
内容は、勉強のことから趣味のことまで様々です。

私は、誰かの家で「馳走(ちそう)になる」ときはカレーがいいと思っている。これは子どもの頃から変わらない。私が小学生の頃は、我が家も含め友人やいとこの家で開かれるお泊り会の誘いがあった。今現在、小学生の間でそういう催し(そまひ)が開かれているかは分からないが、私の周りでは、年に数度行われていた。保護者からすれば、よそ様の子どもを預(あず)かり料理を振舞(ふるま)うのは大変な負担だったろう。しかし、少年の私からすればこのイベントは、非日常の大変な楽しみだった。

お泊り会の時にでてくる食事で最も多かったのがバーベキュー、それに次いでカレーだ。私はこの「ひとんちのカレー」が大好物だ。自分の普段食しているものと同じものは決して出さない。肉の違いに始まり、ルーの種類、具の切り方、必ずその家独特のレシピで作られたカレーがでてくる。それは、その家庭で暮らす人たちの好みや、育ってきた環境、風土によって変化する。いわばその家の「日常」を凝縮(ぎん縮)した食べ物だ。非日常の中で感じる「ひとんちの日常」は私の食欲と好奇心を大いに刺激した。

自分の家のカレーにも、父や母、兄弟姉妹、祖父母の「日常」を感じる事ができるかもしれない。特に「ひとんちのカレー」をいただいた後に考えてみてはどうだろうか。

「ひとんちのカレー」



1年生担任
東園 敬介
(出水小出身)
教科：国語

約2000キロ

れいめい中学校一日体験入学 7/29(土) 開催!!

申込み・詳細は後日配付のチラシまたはHPにてご案内します。

れいめいの取り組みが分かる
公式HP・SNSはコチラ→



れいめい中の日常がわかる「れいめい中 School Life」もホームページから!!